

2018年(平成30年)7月16日(月)掲載

くらし



ジュニア編 ⑦



よしかわ・たかゆき 74年
 徳島県生まれ。秋田大医学部
 卒、同大学院修了。13年4月
 から現職。

肩関節で問題となるスポーツ障害の原因は、大きく分けて①外傷によるもの②使い過ぎ(オーバーユース)によるものがあります。

①は、ラグビーや柔道などのコンタクトスポーツで、肩に強い力がかかることにより生じる脱臼です。

②は、野球

の投球動作に代表されるオーバーヘッド動作を繰り返すことで生じます。野球のほかバレーボールやテニス、水泳、弓道などでも症状が出ます。

脱臼は、肩鎖関節脱臼と肩関節脱臼に分けられます。肩鎖関節脱臼は、ラグビーの元日本代表・五郎丸歩選手のけがで知られるようになりましたが、数としてはそれほど多くはありません。

肩関節脱臼は、すべて

肩関節の脱臼

装具を着けて安静に

の関節脱臼の中で最も多く、約半数を占めます。多くは競技中などの激しい接触が原因で起こり、受傷直後には強い痛みが出ることも、手がだらんと垂れ下がった状態になります。競技の続行は

す。

整復すればひとまず日常生活に支障がなくなります。手術をすることで脱臼を繰り返すようになってしまつ(反復性肩関節脱臼)ことがあり、注意が必要で。サッカー日本代表の長友佑都選手も、かつて試合中の衝突

骨が欠けるなどした場合、初回の脱臼でも手術をした方が良いことがあります。手術をするとスポーツ復帰まで半年程度かかります。いずれにしても、中高生の部活動という、限られた時間の中でかなりの損失となってしまう。

無理ですので、脱臼を戻す(整復)ことになりま

で再脱臼しています。

反復性肩関節脱臼になるのを防ぐ

るようお手伝いすることだと考えています。チーム事情や大会の時期なども治療方針を決めていく上で重要な要素です。お子さんとご両親の意見が食い違うこともありま

す。何度も話し合いながら方針を決めていくことが大切です。

(嘉川貴之・横手市立大森病院リハビリテーション科科長)

脱臼と同様に、肩の

載



脱臼整復後 右肩関節脱臼

第1、3月曜日に掲